


【個人】

山 行 報 告 書

山 名： 唐松岳 2696m～五竜岳 2814m (長野県白馬村)	
入山日：平成26年4月30日(木)～5月2日(土) (2泊3日) 帰宅日：5月2日(火)	
プラン担当者 正：岩田 副：	概略図
参加者 L：岩田 男 1名、女 名、計 1名	北 ↑ ◎白馬八方 ↓ ゴンドラ・リフト 唐松岳頂上小屋←八方尾根←八方池山荘前 ↓ ↓ ↓ 白岳→大遠見山→地藏ノ頭⇒リキヤビノ⇒◎とおみ 五竜山荘 ↓ 五竜岳△2814m
	
五竜岳頂上より唐松岳・白馬岳方面	
記録	
4月30日(木)	大宮 6:42⇒かがやき 501号⇒7:39 長野 8:05 バス⇒9:15◎白馬八方 ⇒ゴンドラ・リフト⇒10:10 八方池山荘前 10:45 八方池山荘前→11:50～12:12 八方池→15:10～15:22 唐松岳頂上山荘→ 15:44～16:15 唐松岳△2696m→16:35 唐松岳頂上山荘 (泊) Tel.0261-72-3280
5月1日(金)	7:35 唐松岳頂上小屋→10:33～11:05 昼食→11:28～11:45 五竜山荘→ 13:00～13:13 五竜岳△2814m→14:42 五竜山荘 (泊) Tel.白馬館 0261-72-2002
5月2日(土)	6:40 五竜山荘→6:50 白岳 2541m→7:40～8:02 西遠見山→9:09～9:25 中遠見山→ 9:45 小遠見山→10:14 ノ背髪→10:54～11:17 地藏ノ頭→11:30 リフト 1530m 11:34 リキヤビノに乗る⇒11:44◎とおみ着、12:00～13:18 エスカルプラザで入浴→ 13:40 白馬五竜バス停 13:55 バス⇒14:55 長野 15:10 あさま 620号⇒16:30 大宮
荒天候時のエスケープルート：八方尾根を引き返す	
装備食糧	個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、アイゼン、ピッケル、スパッツ、 ゴーグル、目出帽、オーバー手袋、テルモス、ツェルト、GPS、携帯電話、ストック 個人食：

4月30日(木) 第一日目 晴

ゴンドラ、リフトを乗り継いで八方池山荘前に到着。八方尾根は半分ぐらい夏道で右手に白馬三山を眺めながら登る。八方池は雪に覆われていた。急登もあったがアイゼンはつけなかった。唐松岳頂上山荘に着き、反対の西側方面がひらけ、剣岳立山など絶景だった。山荘にザックを置き唐松岳をピストン。宿泊者は30人ぐらいで、混んでいなかった。

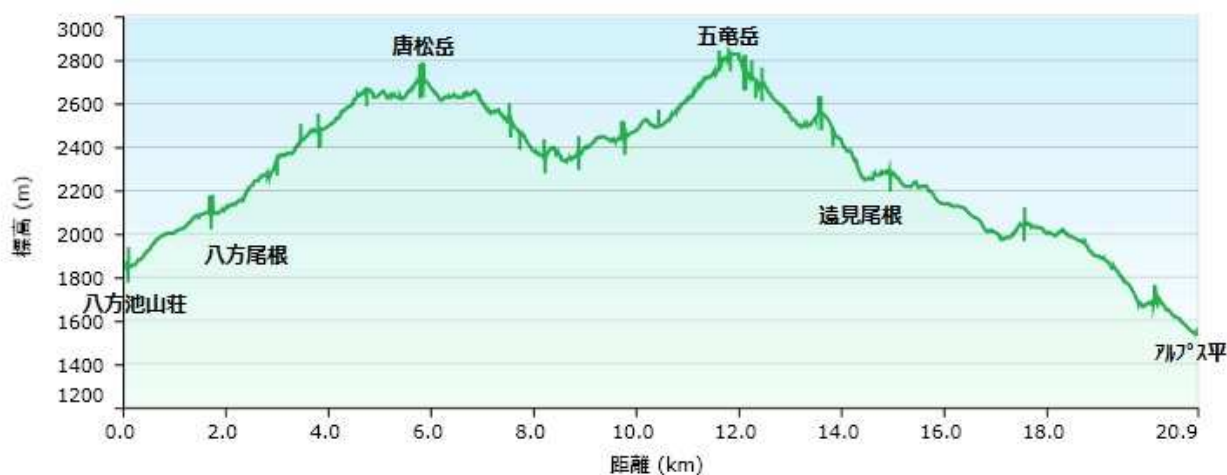
5月1日(金) 第二日目 晴

6時30分朝食。唐松岳頂上山荘を出発し、最初は夏道でやがて鎖場がたびたび出てきた。途中からアイゼンをつけ五竜山荘に到着した。必要な荷物のみを持ち山荘を出発し、五竜岳頂上手前では鎖場や、急な雪の斜面を登り山頂に着いた。イワツバメが10羽ほど舞い登頂を歓迎しているようだ。北アルプスの展望を満喫後、下りは急坂を慎重におりた。宿泊者は18人ぐらいで、テント10張り。

5月2日(土) 第三日目 晴

5時30分朝食。五竜山荘を出発し、すぐ隣の白岳に登ってから遠見尾根を下った。西遠見山は見晴最高でしかも静かだ。他登山者はこのピークの巻道を行ってしまう。遠見尾根は八方尾根より積雪が多く最初からずっとアイゼンをつけた。振り返ると五竜岳の武田菱がはっきり見える。連休後半の土曜日だから下から大勢の登山者が登ってきた。地藏ノ頭から下はスキーヤーでにぎわっていた。テレキャビンに乗り麓のとおみに着き、エスカルプラザで入浴。バス停五竜まで約20分歩き長野行き高速バスに乗った。

グラフ



統計

概要

ポイント: 4038 距離: 20.9 km 区域: 17.3 sq km

時刻

経過時間: 2日 0:59:51 移動時間: 9:41:25 停止時間: 1日 15:18:26

スピード

平均: 0.4 km/h 移動の平均値: 2.2 km/h 最小: 0.0 km/h 最大: 28 km/h

標高

最小: 1527 m 最大: 2832 m 上り: 1963 m 下り: 2286 m 勾配: -1.6 %

以上